



Connect with Innovation

会社案内



光が絆をつなぐ。

人から人へ、過去から未来へ、光を通じて絆をつなぐ。

高速大容量ネットワークが実現するクラウド社会において

その基盤となる光関連製品を手がける私たちの真ん中には、常に人がいます。

400年の歴史を経て受け継がれる住友事業精神をベースに

期待を超え、未来のスタンダードとなる価値の創造に向かって、

一人ひとりが切磋琢磨し、強いチームとなり、高品質な製品を生み出しています。

見つめているのは、業界のトップランナーです。

同じ未来を見据えるお客様と、出逢うすべての人々へ

私たちは、光で絆をつなぎます。

業界のグローバルトップランナーを目指して

情報通信分野は、絶えず高度化とサービスの多様化が進んでおり、現在では社会・経済インフラとして日々の暮らしに深く定着しています。今後も社会の情報化はますます進展し、メタバースや生成AI、IoTなどが様々な生活シーンに取り入れられ、私たちの暮らしは大きく変化していくと考えられます。

当社は住友電工グループとして、創業以来培ってきた技術力・開発力・モノづくり力を更に高めてトップテクノロジーを追究し、これからのデータドリブン社会に求められる通信ネットワークの大容量化と低遅延化、そして低消費電力化の推進に貢献します。そして安心・快適な暮らしとグリーンな環境社会の実現へ技術で挑戦し続け、この分野のグローバルトップランナーを目指します。

住友電工オプティフロンティア株式会社
代表取締役社長

小澤 一雅



住友電工と一体となり、情報 通信社会の最先端を切り拓く。

住友電工のグループカ

私たちは、住友電工の情報通信事業における中核を担っています。グローバル企業がもつ世界トップクラスの研究開発力や営業力とともに、市場に新しい価値をもたらす画期的な製品を開発。次世代の情報通信社会の大きな力となるリーディングカンパニーを目指します。

住友電工

住友電工
オプティフロンティア

住友電工グループの強み

01
グローバルな
お客様のニーズに
対応する
製品開発

02
世界初の製品を
生み出し続ける
技術開発力

03
最先端で
最高品質の
モノづくり

経営基盤を支えるSEQCDD*

住友事業精神 萬事入精・信用確実・不趨浮利

*SEQCDDとは、S(Safety:安全)、E(Environment:環境)、Q(Quality:品質)、C(Cost:価格)、D(Delivery:物流、納期)、D(Development:開発)の各要素を考慮して実行する住友電工グループの方針を指します。

住友電工(住友電気工業株式会社)グループの事業部門

環境エネルギー部門

自動車部門

エレクトロニクス部門

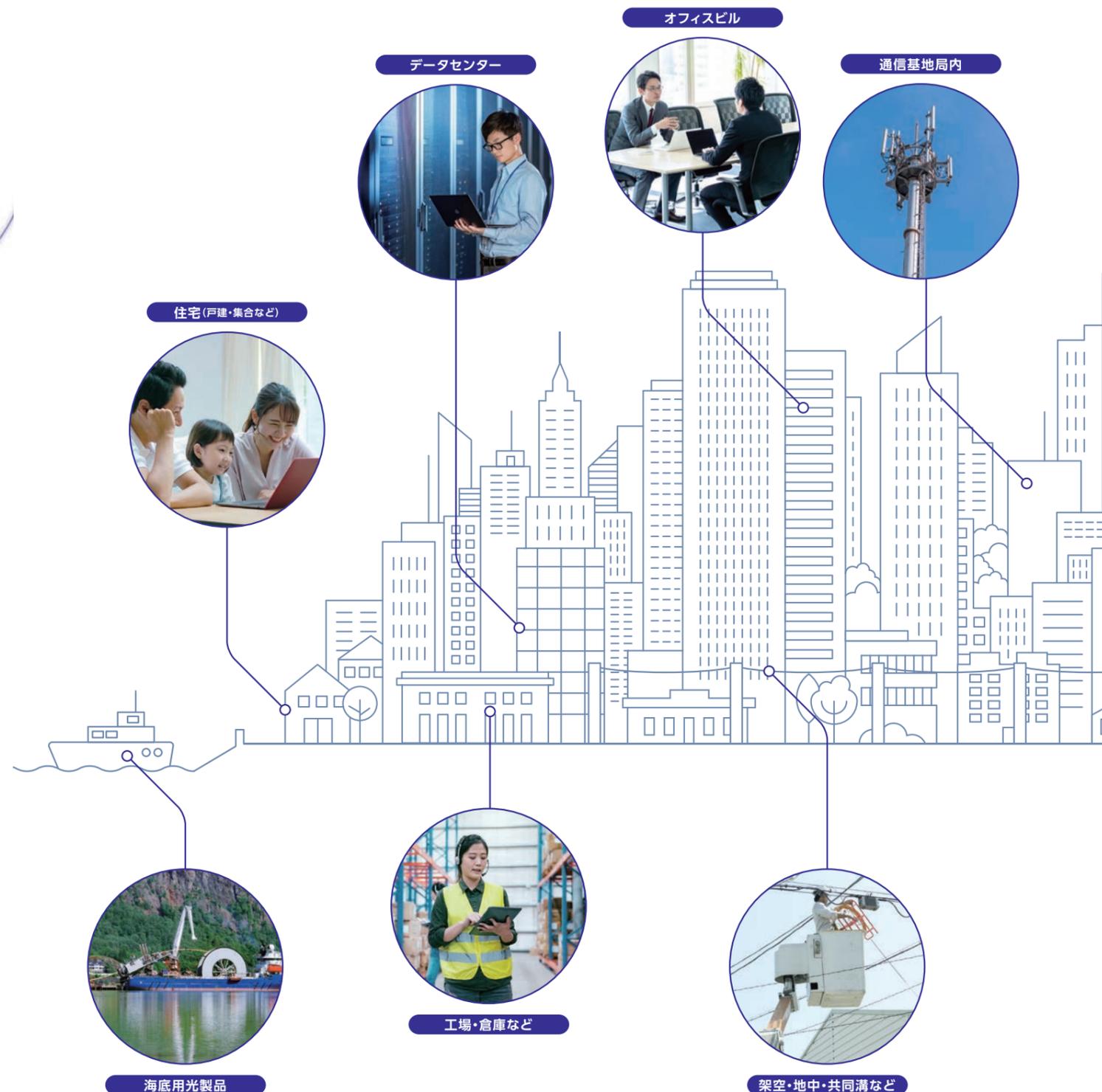
産業素材部門

情報通信部門

住友電工オプティフロンティア

当社は住友電工の情報通信部門と連携し、光ケーブル・光コネクタや融着接続機などの情報通信関連製品メーカーとして、グローバルに事業展開をしています。データセンターや通信局とユーザーを結ぶ光ファイバケーブルなどの製品開発・設計から製造、納品まで一貫生産体制で社会を支え続けます。

暮らしをつなぐ事業領域





技術力

革新的な技術開発力は、住友電工グループの総合力から生まれる。

1980年代、前身のトヨクニ電線が光ケーブルの生産を開始して以来、情報通信技術の発展とともに、その最前線で研究開発を重ね、革新的な製品を送り出してきました。そのため、お客様の期待だけでなく、業界トレンドや市場を取り巻く環境変化も考え、住友電工グループの総合力を活用し、情報通信業界の課題解決を視野に入れた新たな価値創造を使命としています。



技術開発力の特長



挑戦に挑戦を続ける

私たちの社内には、チャレンジを奨励する文化が根付いています。例えば、折り曲げに強いタフライトケーブルの開発に費やした年月は3年。常に妥協せず、最高の製品開発に挑戦し続けています。業界トップを目指すどん欲な姿勢は、全社に息づいています。



次世代のスタンダードを創造

結んでも結束状態でも通光する光ケーブルや光ファイバの状態を瞬時に認識し低損失で融着接続を行うAI技術NanoTune™、融着接続機の状態をクラウドで監視し、予防保全を実現するSumiCloud™など、次世代のスタンダードとなる新たな価値を創造します。



技術を応用して他分野にも参入

情報通信分野で約半世紀近く培った技術開発力を、他産業でも活用する可能性を模索しながら技術開発を行っています。例えば、光ケーブル技術を応用し、柔軟性に富んだ光ケーブルを医療用に利用するなど、幅広い分野でそのポテンシャルを発揮しています。

Interview | 最高品質への追求

社員同士の強い連携が、最高品質の成績と評価につながる。

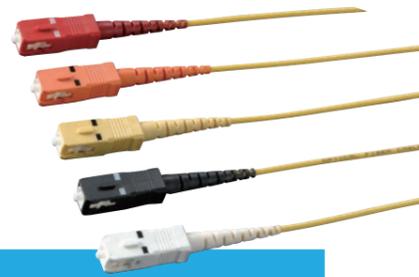
光コネクタを納入させていただいているお客様のひとつに、大規模データセンターがあります。この会社様は毎年納入企業に対して、品質、納期、対応など、総合的な視点でスコアをつけておられます。そのスコアで、ある年の私たちはほぼ満点をいただくことができました。それも他の企業様と比べて、圧倒的な点数差だったとのことで、今も多くのお取引をさせていただいております。お客様に認められたことは、モノづくりの高い基準や意見をぶつけ合える風土があつての結果だと感じています。仕事に真剣に向き合えるメンバー同士の連携は、当社の大きなアドバンテージだと思います。



TECHNOLOGY

最高品質を追求した製品が、 高速・大容量で世界をつなぐ。

住友電気オプティフロンティアは、光をつなぐ多彩な製品をラインアップしています。製品開発時は、光ファイバケーブル、光コネクタ、融着接続機、クロージャなど、住友電気グループ各社が個別にもつ、各製品に関する専門技術を結集。強みをひとつに、最高品質を追求した製品を開発し、世界をつなぐ高速大容量ネットワークに貢献しています。



光ケーブル製品

屋内（構内・局内など）用配線を中心に生産を行っている光ファイバケーブル。耐曲げ、耐側圧など業界の常識をくつがえした独自のケーブル技術を活用し、優れた取り扱い性を有し、従来コード比2倍の強度を実現した高強度タフラインコード／ケーブルをはじめ、様々なご要望に柔軟に対応しながら、多種多様な製品を開発しています。



光コネクタ製品

住友電気の光通信事業部や研究開発部門と連携しながら、お客様のニーズに応じて製品を開発し、充実した製品群を取り揃えています。主に通信事業者のデータセンターやネットワークの構築、一般家庭のFTTH用光コネクタを生産。多心においては、世界トップクラスの低損失化を成し遂げ、常にお客様目線で使いやすさを追求し、高品質化を図っています。国内拠点では国内向け短納期製品、海外拠点では海外向け製品を中心に製造を行っています。

メカトロニクス製品

過酷な作業環境を想定し、使いやすさを追求して進化を続ける融着接続機。なかでも当社のフラッグシップ機であるTYPE-72C+シリーズは、世界中のお客様に利用される製品で、AI技術NanoTune™やIoT技術SumiCloud™などの最先端技術を他社に先駆けて搭載。また、融着作業に必要な光ファイバカッターやジャケットリムーバなど、住友電気グループ独自の素材技術を活かしたアクセサリも充実させています。

融着接続機



※住友電気より生産受託

光ネットワーク製品

めまぐるしく進化する光通信システムを支える、高性能な光部品を生産。光を分岐・結合および分波・合波させる優れた機能をもつ光ファイバカプラ、導波路型スプリッタ、光ファイバフィルタなど、光ファイバコードの開発で培ったノウハウを応用し、お客様のニーズに合った光モジュール製品を提供しています。



光ファイバカプラ



Mux/Demux

メタルコンポーネント

オンボード光接続用製品

光ファイバネットワークの主に幹線系（メトロ網）に用いられる、光トランシーバ（中継基地局など）で採用されており、最先端の通信装置にも採用された実績があります。また各製品はお客様からのご要望による100%カスタム設計です。お客様の開発テーマに合わせて、最適な構造を設計・提案します。



精密金属加工品

CNC複合旋盤およびMCフライスを活用した精密加工部品を生産しています。一般的にフライス加工が前提となる部品形状や複数部品の一体化が必要な場合でも、旋盤加工を駆使してコストダウンを実現。様々な材質・形状に果敢に挑戦しています。



旋盤加工品

ENGINEERING

設計から納品までの一貫生産体制が、世界中のオーダーにワンストップで応える。

世界中から届く厳しい要求に最高のクオリティで応えるため、各部門のスペシャリストが製品設計・試作開発を行った後、幾度となくお客様との対話を経て、提案に進みます。生産においてはお客様のご要望に応じるべく、国内外の生産拠点を活かし、納品します。すべてのプロセスを一手に担う一貫生産体制が、お客様の期待と時代の声にワンストップで応えます。

生産フローの特長

一貫生産体制による強み

国内外におけるネットワークを駆使し、ケーブル製造からコネクタ加工まで一貫して生産。ニーズに合わせた製造で、納期短縮やコスト削減を実現します。

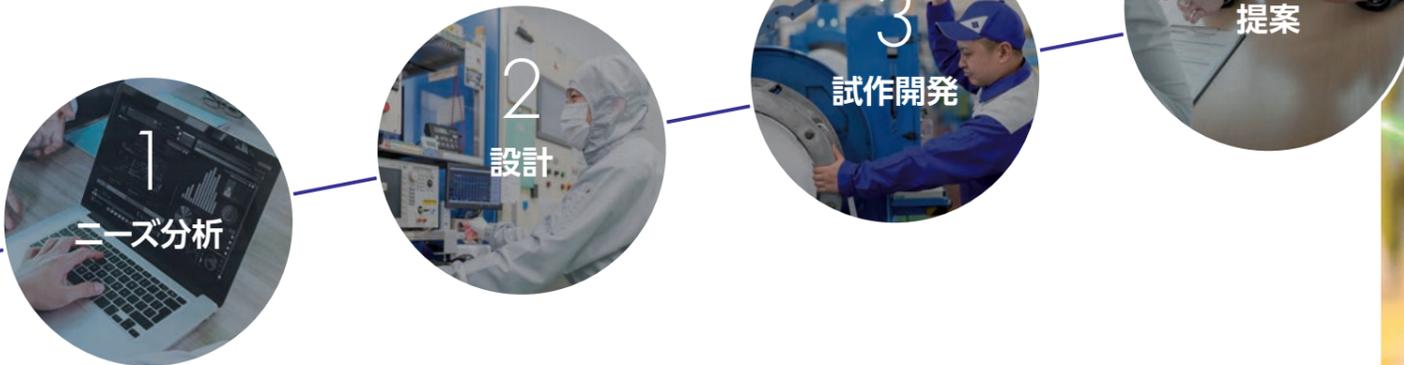
- 受発注管理システムにより営業・管理・製造の各部門が密接に連携して対応
- 各拠点の状況やストックの有無を把握して、臨機応変な状況判断を行い、ニーズに合わせた案件対応

光を操る技術力

「光接続」と「精密加工」それぞれの高い技術力を融合させ、次代の情報通信分野における幅広いニーズに応えます。

- 制御、増幅するための電気、機構、ソフトウェア、光伝送の基礎技術を所有
- 光ファイバを基礎とした、高機能ファイバ、光学部品、光フィルタを融合した高機能な増幅器を実現
- 精密加工やカスタム工具なども設計可能

製品の設計から納品までの流れ



Interview | 柔軟な対応力

2倍の生産をわずか2か月で一丸となってやり遂げた。

普段ならご注文が増えるのはものすごくありがたいことなのですが、納期が2か月後と聞いた時には正直不可能だと思いました。わずかな期間で今までの2倍の融着接続機を生産するためには、素材、部品、人材、生産ラインと、すべてにおいて2倍の量が必要です。高品質を保ちながら、お客様の期待に応えるために社内の関係者に相談しながら、ひとつずつ難題をクリアしていきました。メンバー全員が一体となって規定数を納品した時は達成感でいっぱいでした。



MANUFACTURING

経営基盤を支える指標が、あらゆる企業活動を世界基準に導く。

住友電工グループの経営基盤を支える指標、それが「SEQCDD」です。

Safety、Environment、Quality、Cost、Delivery、Developmentからなる独自の言葉で、安全を最優先事項に、すべてにおいて高水準を追求する企業姿勢はここから培われています。



品質保証と環境対策

環境に配慮した生産活動とともに、製品の品質保証に万全を期すため、国際標準規格である「品質マネジメントシステム (ISO9001)」と「環境マネジメントシステム (ISO14001)」を認証取得。高い基準で定められた仕組みを活用し、継続的な改善を実施しています。

ISO9001認証取得
品質マネジメントシステム
横浜・埼玉・湘南・諏訪事業所: JQA-1135

ISO14001認証取得
環境マネジメントシステム
横浜事業所: JQA-EM0328
埼玉・湘南・諏訪事業所: JQA-EM0699

環境方針の基本理念

当社は「持続可能な環境負荷の少ない社会を構築していくことが重要である」との認識のもと、地球的な視野に立った環境保全活動を継続かつ着実に推進しながら、環境に配慮した光ファイバコード、ケーブル・光機器関連などの製品およびサービスの提供を通じて社会に貢献します。

環境保全への取り組み

省エネルギーの推進

- 空調機の更新や高効率照明の採用など省エネ設備への投資や事務所・工場の照明の適正化、空調温度の適正化など

省資源、リサイクルの推進

- 廃棄物の「3R」を推進 (Reduce=発生抑制、Reuse=再使用、Recycle=再資源化)
- 工場で主に冷却水として使用される水の使用量を削減
- 工場の改善・品質向上などを進め、資源の消費と廃棄物発生を抑制

環境に配慮した製品の提供

- 製品含有化学物質の管理の推進と製品アセスメントの実施

グリーン調達を推進

- 住友電工グループの一員として環境に配慮した製品の供給を継続

環境に配慮した事業所づくり

ハイブリッド照明と植栽

埼玉事業所の憩いの広場には、太陽電池と風力発電によるハイブリッド照明装置を2基設置。省エネおよび温室効果ガス排出量削減を目指しています。また、関係子会社が所在する県の木を植栽し、構内の緑化とCO₂削減に貢献しています。



生物多様性の保全

冬季はマイナス10℃まで下がる長野県諏訪郡富士見町の諏訪事業所では、環境に優しいペレットストーブを導入。県内間伐材を有効活用し、化石燃料の使用削減や不要な伐採の抑制など、地域密着型・資源循環型企業を目指しています。



Interview | 環境保全の取り組み

上司の言葉が、誇りをもつきっかけを与えてくれた。

今でこそ持続可能な企業活動に絶対不可欠な仕事だと認識されておりますが、目に見えないうちに、数字によるわかりやすい評価が得にくい環境対策は、社内でも理解を得ることが難しい時代がありました。社会的にみても現在より環境意識が低かった頃ですが、自分の業務が本当に会社や地域の役に立っているのか、悩む時期がありました。そんな時、当時の上司が勇気づけ励ましてくれたことはよい思い出です。誇りをもって業務に取り組めるきっかけとなり、本当に感謝しています。



全国ネットワークによって迅速で柔軟な対応を実現する。



本社・横浜事業所
〒244-8589
神奈川県横浜市栄区田谷町1
TEL.045-853-7100 FAX.045-852-7922

埼玉事業所
〒361-8604
埼玉県行田市埼玉4125
TEL.048-559-2151 FAX.048-559-2162

湘南事業所
〒253-0087
神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-5-1
TEL.0467-85-4881 FAX.0467-59-1096

諏訪事業所
〒399-0214
長野県諏訪郡富士見町落合11211
TEL.0266-62-3155 FAX.0266-61-1015

東京営業所
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-3-13
赤坂センタービルディング
TEL.03-6406-2800 FAX.03-6406-4032

関西営業所
〒541-0041
大阪府大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル
TEL.06-6229-8551 FAX.06-6227-9580

グループ会社:株式会社オプティフロンティア・マニファクチュアリング

田辺工場 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町東跡の浦2611-17
TEL.0739-81-3060 FAX.0739-81-3070

浪岡工場 〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡淋城2-1
TEL.0172-62-8500 FAX.0172-62-8501

東かがわ工場 〒769-2521 香川県東かがわ市大内200番地13
TEL.0879-26-3251 FAX.0879-26-3253

会社概要

会社名	住友電工オプティフロンティア株式会社
創業	1915年5月15日(前身の豊国電線製造所創業)
設立	1939年12月23日
業種	製造業
事業内容	光通信・光機器製品の製造 ●光ファイバケーブル/コード製品 ●光コネクタ製品 ●光ネットワーク製品 ●光通信用具類 ●精密加工部品
代表者	代表取締役社長 小澤 一雅
資本金	6.6億円
株主	住友電気工業株式会社
従業員数	約900名(連結)
事業拠点	【本社】横浜(住友電工・横浜製作所内) 【事業所】横浜、埼玉、湘南、諏訪 【営業所】東京、大阪
グループ会社	株式会社オプティフロンティア・マニファクチュアリング

歴史を受け継ぎ、未来を見据え、
業界のトップランナーへ。
光で絆をつなぐ。

挑戦を続けた2社の歩みが、
一世紀に渡る歴史を語る。

これまでの
歩み

光ケーブルと光コネクタを一貫生産し、電線業界で重要な地位を築いたトヨクニ電線。
光関連部品・モジュールの総合メーカーへと発展した住電ハイプレジジョン。
2010年7月、歩みの異なる2社に息づくモノづくりへの情熱を結集し、私たちは誕生しました。

(旧)トヨクニ電線株式会社

(旧)住電ハイプレジジョン株式会社

1915 ○豊国電線製造所を現在の東京都台東区根岸に創業
○コード類を生産開始

1915 

1939 ○(株)佐々木工業所を現在の東京都港区浜松町に設立
○巻線、ゴム線を生産開始

1939 

1962 ○埼玉県行田市に工場移転

1967 ○住友電気工業(株)が経営参加

1967 

1973 ○4月1日両社合併、社名を豊国佐々木電線(株)に改称し、資本金2億円で発足

1975 ○住宅・ビル用ハーネス生産開始

1979 ○本社を東京都港区虎ノ門から豊島区南池袋に移転

1983 ○ティ・エス・イー(株)設立

1986 ○10月1日、トヨクニ電線(株)に社名変更

1987 ○光ファイバケーブル用工場建設、生産開始

1987 

1989 ○資本金661,605,050円に増資
○埼玉トヨクニ(株)設立 <注1>

1990 ○山梨トヨクニ(株) <注1>、(株)ティ・ケー・ケー設立 <注2>

1991 ○光コネクタ付きケーブルを生産開始
○東北トヨクニ(株)設立 <注1>

1994 ○(株)ティ・アンド・ディ設立 <注2>

1995 ○日本電信電話(株)へ局内光ケーブルの納入を開始

1996 ○トヨクニ・エンジニアリングサービス(株)設立 <注2>
○ISO9001認証取得

1997 ○関西トヨクニ(株)設立 <注1>
○NQAS(NTTの品質規格)認証取得

1999 ○光ファイバケーブル生産開始

2000 ○ISO14001認証取得

2001 ○秩父トヨクニ(株)設立 <注2>

2002 ○四国トヨクニ(株)設立 <注1>
○電力ケーブル生産終了、光ケーブル事業拡大

2008 ○住友電気工業(株)完全子会社化

1938 ○昭和機械工具(株)として設立
○航空機用切削工具の製造を開始

1938 

1956 ○同軸ターミナルおよび同軸ケーブル接続工具の製造を開始

1942 ○長野県諏訪郡落合村(現富士見町)に諏訪工場建設

1947 ○通信省より通信機用調整工具の発注を受け、その製造を開始

1978 ○住友電気工業(株)が経営参加

1983 ○光ファイバ用工具、光コネクタ・光コネクタ付きコードを電電公社に納入を開始

1984-1991 ○デジタル交換機用コネクタ結線工具、ファイアタイトカバー、とう道用火災感知器・避難誘導灯、GI形光ケーブル用コネクタ、SC形光コネクタ等の納入を開始

1983 

1992 ○本社を東京都目黒区より神奈川県茅ヶ崎市へ移転
○社名を住電ハイプレジジョン(株)に変更
○MTコネクタの生産・納入を開始
○融着接続機、光スイッチ等メカトロニクス製品の委託加工開始

1992 

1997 ○ISO9001ならびにNQAS(NTTの品質規格)の認証取得

2000 ○光送受信器(データリンク)の委託加工開始
ISO14001の認証取得

2001 ○湘南第二工場竣工

2002 ○横浜工場発足

2003 ○光モジュール、光レセプタクル製品の生産・納入を開始

2004 ○諏訪工場拡張

2007 ○藤沢センターを開設

2008 ○会社設立70周年記念事業開催

2008 

2010 ○住宅・ビル用ハーネス事業を住友電工産業電線(株)に移管
○トヨクニ電線(株)と住電ハイプレジジョン(株)が合併し、SEIオプティフロンティア(株)営業開始

2010 SEIオプティフロンティア株式会社

2018 ○本社・横浜事業所 光機器建屋竣工

2020 ○住友電工オプティフロンティア(株)に社名変更

2020 住友電工オプティフロンティア株式会社

2024 ○住電オプコム(株)から光電子機器製品事業を移管

HISTORY